

令和 6 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団

令和6年度 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団 事業報告

はじめに

平素より当事業団の運営につきましては、利用者の皆さまや保護者の皆さまをはじめ、関係各所の皆さま方には格別のご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

令和6年度は、当事業団の主な実施事業である指定管理者施設（つつじ学園、ふれあい活動ホーム赤羽根・あかしあ・第2あかしあ）の新たな指定管理期間（5年間）の初年度でありました。

障害児通所施設である「つつじ学園」においては、日中一時支援事業所を廃止したうえ、統合する組織改編を実施し、同一拠点における事業実施が利用児や保護者の安心に繋がり、利用率が上昇に転じています。児童発達支援センターとしては、中核的な役割として市域の事業所をけん引する立場にあることを認識しつつ、主体性をもって事業に取り組んでいます。

また、年度当初には、茅ヶ崎市より指定管理施設のうち、「あかしあ」について、建物の老朽化により継続利用ができないことが示され、移転を検討することを余儀なくされました。移転候補地においては、市より提示されたものの、施設移転には数々のハードルがありましたが、市と協議を重ね、利用者やご家族の皆様のご理解を概ね得られたところでございます。

移転協議にあたっては、利用者やその保護者の高齢化への対応として、障害福祉サービスと介護サービスとの複合事業となる共生型サービスへの参入を市へ提案してまいりました。これまでの協議の中では、事業化の道筋までには至りませんでした。が、障害のある方の介護サービスへの移行は、私たちが思っている以上にご本人の不安が強いという、周りの方の障害理解など様々な壁があることが明らかになってきています。

現状は、限られた資源の中でできることを精一杯に対応していくこととなりますが、引き続き、利用者や地域が望み、求められている施設づくりを実現するため、成人事業は令和6年度後期にまとめた、工賃向上に向けた事業方針に基づいた計画を推進するとともに「利用者満足度の向上」を図りつつ、「人財」における職員対応力や、「虐待を発生させない体制づくり」への強化に取り組み、当事業団の福祉サービスを利用される皆さまの「安全・安心」を担保する運営に取り組んでいく所存でございます。

令和7年4月

理事長 高 橋 里 幸

事業報告（重点目標）の評価について

達成度（状況）	達成率	評価説明
達成できた	90～100%	取り組み内容や達成に至った経緯、成果を記載
概ね達成できた	70～89%	取り組み内容と達成に至らなかった課題等を記載
達成できなかった	0～69%	取り組み内容と達成に至らなかった理由を記載 （外的要因含む）

1 事業の概要

(1) 経営理念

私たちは、きわめて公益性の高い社会福祉法人として、誰もが人として尊ばれ、愛する地域で自分らしく生活できる社会づくりに貢献します。

(2) 経営方針

ア 一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

イ 信頼される社会福祉法人として、茅ヶ崎市との連携を下に地域課題の解決に取り組みます。

ウ より質の高いサービスを提供できるよう、職員の資質を向上させ、組織体制を強化します。

エ 事業の継続的な改善・見直しを実施し、活力ある法人経営と効率的な事業経営により、経営基盤を強化します。

オ 関係法令や社会規範の理解・遵守を徹底するとともに、個人情報の保護と透明性の高い法人経営を推進し、利用者・地域社会の信頼に応えます。

2 管理・運営

(1) 理事会の開催状況

ア 令和6年度第1回(6月通常)理事会

(ア) 日時 令和6年6月6日(木) 午後4時00分から午後5時30分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑2階

(ウ) 審議案

報告第1号 理事長専決処分の報告について

議案第1号 令和5年度事業報告について

議案第2号 令和5年度会計決算について

議案第3号 社会福祉充実計画の変更について

議案第4号 令和6年度第一次補正予算について

議案第5号 理事候補者について

議案第6号 評議員選任候補者の推薦について

議案第7号 評議員選任・解任委員会委員の選任について

議案第8号 評議員選任・解任委員会の招集について

議案第9号 令和6年度第1回定時評議員会の招集について

以上報告1件、議案9件は審議の結果、異議なく承認された。

イ 令和6年度第2回(臨時)理事会

(ア) 日時 令和6年11月14日(木) 午後3時55分から午後5時05分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑2階

(ウ) 審議案

報告第1号 理事長専決処分の報告について

報告第2号 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について

報告第3号 指導監査の結果について

報告第4号 評議員選任・解任委員会の報告について

議案第1号 令和6年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第二次補正予算について

議案第2号 令和6年度第2回（臨時）評議員会の開催について

以上報告4件、議案2件は審議の結果、異議なく承認された。

オ 令和6年度第3回（3月通常）理事会

（ア）日時 令和7年3月19日（水） 午後4時00分から午後5時25分まで

（イ）場所 ぐっじょぶ矢畑2階

（ウ）審議案

報告第1号 理事長専決処分の報告について

報告第2号 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について

議案第1号 令和6年度第三次補正予算について

議案第2号 令和7年度事業計画について

議案第3号 令和7年度予算について

議案第4号 規程について

議案第5号 令和6年度第3回（3月）評議員会の招集について

以上報告2件、議案5件は審議の結果、異議なく承認された。

なお、議案第2号及び議案第3号は、定款第35条第1項の定めによる、理事総数の3分の2以上の同意が得られた。

（2）評議員会の開催状況

ア 令和6年度第1回（定時）評議員会

（ア）日時 令和6年6月21日（金） 午後4時00分から午後5時00分まで

（イ）場所 ぐっじょぶ矢畑1階

（ウ）審議案

報告第1号 令和5年度事業報告について

議案第1号 令和5年度会計決算について

議案第2号 社会福祉充実計画の変更について

議案第3号 令和6年度第一次補正予算について

議案第4号 理事の選任について

以上報告1件、議案4件は審議の結果、異議なく承認された。

イ 令和6年度第2回評議員会

（ア）日時 令和6年11月29日（金） 午後3時55分から午後4時20分まで

（イ）場所 ぐっじょぶ矢畑1階

（ウ）審議案

議案第1号 令和6年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第二次補正予算について

以上議案1件は審議の結果、異議なく承認された。

ウ 令和6年度第3回（3月通常）評議員会

（ア）日時 令和7年3月27日（木） 午後3時55分から午後5時00分まで

（イ）場所 ぐっじょぶ矢畑1階

（ウ）審議案

報告第1号 社会福祉充実計画について

議案第1号 令和6年度第三次補正予算について

議案第2号 令和7年度事業計画について

議案第3号 令和7年度予算について

以上報告1件、議案3件は審議の結果、異議なく承認された。

(3) 事業種別

ア 指定管理者事業

名 称	事 業 種 別 (定員)	指定管理期間
つつじ学園	児童発達支援センター (30) 児童発達支援 (10) 保育所等訪問支援 障害児日中一時支援 (10)	令和 6 年 4 月 1 日 ～令和 11 年 3 月 31 日 (5 年)
ふれあい活動ホーム赤羽根	就労移行支援 (6) 就労継続支援 B 型 (30)	
ふれあい活動ホームあかしあ	生活介護 (20)	
ふれあい活動ホーム第 2 あかしあ	就労継続支援 B 型 (25)	

イ 自主事業

名 称	事 業 種 別 (定員)	事業指定日 (初回)
あっとほーむ小和田 (松が丘) (高田)	共同生活援助 (5・サライト 1+1) (5・サライト 1) (6)	平成 24 年 7 月 1 日指定 *松が丘 平成 26 年 1 月 5 日開所 *高田 令和 2 年 2 月 1 日開所
相談支援センターつみき	障害児相談支援 特定相談支援	平成 24 年 10 月 1 日指定
ぐっじょぶ矢畑	就労継続支援 B 型 (20)	平成 29 年 4 月 1 日指定

ウ 委託事業

名 称	事 業 種 別	事業指定日 (初回)
相談支援センターつみき	茅ヶ崎市相談事業	平成 24 年 10 月 1 日指定

(4) 茅ヶ崎市との協定書等について

締結日	名称
令和 6 年 4 月 1 日	茅ヶ崎市障害児通所施設の管理運営に関する年度協定書
令和 6 年 4 月 1 日	茅ヶ崎市障害者ふれあい活動ホームの管理運営に関する年度協定書
令和 6 年 4 月 1 日	業務委託契約書 (相談支援センターつみき)

(5) 施設の事故・苦情

ア 事故

事故数	怪我		物品損壊	誤飲食	車両		労災	その他	計
	骨折	擦り傷・打撲等			自損	対物			
	1	3			4	1			
			3	1			6	6	25

イ 苦情

申出人	内容				計
	施設設備	被害・損害	騒音	その他	
利用者・家族	0	0	0	0	0
その他	1	3	12	3	19
計	1	3	12	3	19

* 第三者委員への報告等 0 件

(6) 職員配置 (令和7年3月配置数)

	員数計	職種	正規職員 員数	非正規職員 員数	常勤換算
法人本部事務局	2		1	1	
本部事務局		副理事長(業務執行理事)		1	0.77
		事務局長		(1)	
		副事務局長	1		
		事務員	(1)		
児童部門					
つつじ学園	53		13	40	
共通		管理者(施設長)	1		
		副施設長	1		
		管理栄養士	1		
		調理員		3	1.23
		事務員	(1)	1	0.37
		看護師		3	1.06
		嘱託医(小児科)		1	0.01
		嘱託医(精神科)		1	0.01
		理学療法士		1	0.40
		言語聴覚士		2	0.35
		公認心理師		2	0.59
		作業療法士		1	0.32
児童発達支援センター		施設長補佐(児童発達支援管理責任者)	1		
		保育士・児童指導員・指導員	6	11	9.11
		運転員		3	1.35
		指導員(添乗業務含む)		1	0.45
保育所等訪問支援		施設長補佐(児童発達支援管理責任者)	(1)		
		訪問支援員	(1)		
児童発達支援		児童発達支援管理責任者	1		
		保育士・児童指導員・指導員	2	2	1.68
日中一時支援		保育士・児童指導員・指導員		8(1)	4.01
		運転員		1	0.45
相談支援センターつみき	3		1	2	
一般相談支援		管理者(施設長)	1		
障害児・特定相談支援		相談支援員	(1)	2	1.35
成人部門					
ふれあい活動ホーム赤羽根	10		3	7	
就労移行支援		管理者(施設長)	1		
就労継続支援B型		サービス管理責任者	(1)		
		就労支援員	1		
		生活支援員	1		
		職業指導員		7	4.94
ふれあい活動ホームあかしあ	10		2	8	
生活介護		管理者(施設長)	1		
		サービス管理責任者	(1)		
		生活支援員	1	7	3.12
		嘱託医		1	0.01
		看護師		(1)	
ふれあい活動ホーム第2あかしあ	8		2	6	
就労継続支援B型		管理者(施設長)	1		
		サービス管理責任者	(1)		
		生活支援員	1		
		職業指導員		6	3.82
ぐっじょぼ矢畑	5		2	3	
就労継続支援B型		管理者(施設長)	(1)		
		サービス管理責任者	1		
		生活支援員		1	1.00
		職業指導員	1	3(1)	0.92
あっとほーむ小和田	19		1	18	
共同生活援助 (松が丘・高田・サテイト)		管理者(施設長)	(1)		
		施設長補佐(サービス管理責任者)	1		
		生活支援員	(1)	1	0.39
		世話人		19(2)	4.76
計	110		25	85	

() は他職種または他事業所との兼務、育児休業取得者1名は除く

令和6年度は正規職員3名を迎えるとともに、各施設長の配置転換により新たな体制にて事業所運営に臨んだ。また、継続的な人材確保を目的として、年度内に職員採用試験を実施し内定者を決定した。

子育てや親の介護等が必要な職員への支援として、子の看護休暇、介護休業、育児短時間勤務並びに育児休業の取得に向け、意向調査や相談を受け職員の両立支援を推進した。

(7) 研修、会議等

外部研修	主催	日数	延人数
国際福祉機器展2024		1	1
ロボットEXPO	神奈川県	1	1
ハラスメントの実態と対応策	辻本郷社会保険労務士法人	1	1
モチベーションマネジメント研修	(福)神奈川県社会福祉協議会	1	1
アサーション研修	(福)神奈川県社会福祉協議会	1	1
メンタルヘルス研修（一般職員向け）	(福) 福利厚生センター	1	1
会計実務研修会	東京都社会福祉協議会	2	2
指導監査事例等と日常的な会計処理	日本公認会計士協会神奈川県会	1	2
得する加算損する加算	ケア・オール事務局	1	1
健康経営講習	(福) 福利厚生センター	1	1
適正な労務管理と人材確保策(中央研修)	全国社会福祉事業団協議会	1	1
アルコールチェック対策	東京海上日動火災保険	1	1
経営を見つめ直す・職場環境整備	福祉経営研究機構	1	1
報酬改定セミナー	care viewer	1	1
計		15	16

* 法人全体の内部研修として、産業医による研修（16 人参加）を講義とグループワークにて実施した。 テーマ：睡眠とワークアウト

* 事務局職員の内部研修はぐっじょぶ矢畑にて実施

外部会議等	主催	日数	延人数
県内事業団総務担当課長会議	相模原市社会福祉事業団	1	1
茅ヶ崎市行政改革推進委員会	茅ヶ崎市	1	4
茅ヶ崎市障がい福祉課との打ち合わせ	－	3	11
茅ヶ崎市福祉政策課との打ち合わせ	－	2	3
指定管理施設モニタリング	茅ヶ崎市	3	-
計		10	19

内部会議		回数	内容	備考
経営会議（兼計画推進委員会）		2	事業団における管理運営に関する重要事項	
施設長会議	(全体会)	4	事業運営における調整、人材育成、新たな取り組みや行事等の協議と共有化。	
	(成人分科会)	5	主な議題：収支状況の確認、中期経営改善計画と重点目標の進捗確認、事業運営の課題、今後の方向性についてなど	
	(児童分科会)	4		
広報委員会		随時	本部事務局の所掌事務として、法人の広報活動全般において、ホームページや掲示板などを活用し事業所の運営情報等を発信するほか、法人経営の透明化を図る。	

感染対策委員会・防災対策委員会	8	感染症・食中毒の発生や感染拡大の防止及び防災対策に取り組む。 研修及び訓練の実施を通して、各種計画、マニュアル並びに業務継続計画等の検証、見直しを行う。	施設長会議 各分科会と 同日開催
衛生委員会	5	職場における職員の健康確保と快適な職場環境の形成を促進するため、産業医とともに安全衛生に関する調査審議を行う。 組織健康度調査の実施、管理職のグループワーク、個別相談、職員研修の実施	内1回は職員研修
虐待防止委員会・ 身体拘束適正化検討委員会	6	虐待防止や身体拘束廃止の啓発、職員研修の実施方法等を検討するとともに全職員への共有を行うよう各施設長と確認した。 虐待事案発生時には各責任者を緊急招集し、状況の把握や再発防止策等への取り組み内容を協議した。	
成人事業検討委員会	16	法人の安定した経営を維持しながら利用者や地域ニーズに応じていくには何が必要かをコンサルティングの支援を受けながら工賃向上を目的に課題の整理と取り組み内容を検討した。 あかしあ移転と並行した福祉サービス充実の方策や移転先の改装内容について、茅ヶ崎市へ法人の考えを提案、確認しながら協議を重ねた。	委員会7 市打合せ5 コンサルティング会議4
計	50		

(8) 職員の職場環境

ア 健康管理

短時間勤務者を含め定期健康診断を実施し、職務免除にて対応した。

インフルエンザ予防接種料について、申請者に対し助成（23名/41,200円）を行った。

イ 資格取得支援

介護福祉士初任者研修受講者1名と国家資格合格者（介護福祉士1名、社会福祉士2名、精神保健福祉士1名）より年度内に申請があったため、計5名に対し224,000円の助成支援を行った。

(9) 車両の運行状況

(クリッパー) ～R7.2.18

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	148	59	107	134	56	62	110	144	95	69	49		1,033	93.9
運行日数 (日)	12	7	8	11	6	7	12	9	8	7	5		92	8.4
平均走行 距離(km/日)	12.3	8.4	13.4	12.2	9.3	8.9	9.2	16.0	11.9	9.9	9.8			11.2

(クリッパー) R7.2.19～

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)											10	97	107	53.5
運行日数 (日)											1	7	8	4.0
平均走行 距離(km/日)											10.0	13.9		13.4

3 令和6年度の重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	社会福祉法人に求められる使命や利用者ニーズへの対応力を強化するため、研修メニューの充実とともに職員研修を実施する。	達成できた 集合型や配信型など事業所の状況に応じた研修情報を提供するとともに、衛生委員会を通じて、産業医を講師に全体研修を実施した。 より良い業務を行うために重要となる睡眠とワークアウトについて講義とグループワークを行い、職員の健康管理や業務効率化に向けた取組みになった。
(2)	IT活用による業務効率化と並行し、2040年問題の労働力不足を見据えた人員配置と体制整備を行う。	達成できた 業務効率化を目指し、まずは古くなった器具備品類の入れ替えや職員間の連絡ツールの導入など職務環境を整えた。 シニア世代の働き手を活用しつつ、将来を見据えた若手職員の育成と採用を行った。
(3)	事業運営への幅広い意見聴取を実施するため、令和7年3月までに第三者委員の構成員や役割を検討し、組織体制を整備する。	達成できた 第三者委員の改選時期に合わせ、委員構成と職務内容を見直し、関連する要綱を改正した。

つつじ学園事業報告

(児童発達支援センター・児童発達支援・保育所等訪問支援・日中一時支援)

1 基本方針

児童福祉法の理念に基づき、子どもたち一人ひとりを尊重し、愛する地域で自分らしく生活できるように、子どものニーズに寄り添った支援を行い、早期療育の定着を図ることにより、基本的な生活能力を高め、情緒豊かな人間性を養う。

日中一時支援事業については、障害者総合支援法の理念に基づき、障害児を持つ保護者の就労支援及び障害児を日常的に介護している家族の一時的な休息がとれるよう支援する。

(1) 児童発達支援センター(単独通園、週5日)*通園バスあり

保護者から離れて療育を積み重ねていく中で、今までにない人間関係が芽生え、様々な活動を経験することで、社会参加に向かう力を養う。また、保護者は子どもと離れ、客観的に子どもを見つめる時間を過ごし、自身の生活を考え、もう一度子どもとの関わりを捉え直す機会を持つ。

肢体不自由児、医療的ケア児を受け入れる体制を整え、子どもの特性に合った環境で支援を行う。

(2) 児童発達支援事業(親子通園、週2~3日)

心身の発達に遅れやつまずきがある子どもたちが、保護者と共に友達や職員といろいろな遊びや活動に取り組み、経験を積み重ねていく。また、身の回りのことを自分でできるように支援する。保護者は、子どもと一緒に療育に参加し、支援の在り方について職員と考え合う。また、保護者同士で交流を深めながら、共に考え、助け合う場となるよう保護者を支援する。

(3) 保育所等訪問支援事業

主に保育所等に在籍している学園児を対象に、訪問支援員、公認心理師等が保育所等を訪問し集団生活の適応支援を行う。また、子どもへの直接支援や発達の様子を踏まえた関わり方や提示方法について、訪問先保育所等のスタッフに対する支援方法等のアドバイスを行うとともに、保護者に訪問先での様子の報告等を行う。

(4) 日中一時支援事業

障害児が学校下校後や学校休業期間中、及び、療育施設や保育園等の降園後に活動する場を提供し、学校や年齢が異なる仲間との交流を通して、子どもたちの特性やニーズに対応した療育的な配慮を行う。

2 令和6年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	高い専門性と資質の向上等のため、職員の知識や経験年数に応じて外部、内部研修に参加する。また、虐待防止及び身体拘束等の適正化に関する研修、ハラスメント研修等を通じて職員への周知を徹底し、虐待防止、身体拘束等の適正化、ハラスメントの防止に努める。	達成できた 内部研修については、専門職や嘱託医による研修を行い専門的かつ多角的な視点、共通認識等を養うことができた。 また、虐待防止と身体拘束等の適正化については机上研修のほか、事例を通し職員間での意見交換と確認、課題の整理を行った。その他、施設運営における基本的な感染対策、防犯については検討を重ね、当園の実態に合わせた対策について、共通認識をもつことができた。 外部研修については、定例的な研修に参加したほか、職員の階層に合わせた研修受講や資格取得を目的とし積極的な参加に努めた。
(2)	人事評価や職員アンケートを通して、職員一人ひとりの声を大切にし、事務の効率化を図りながら働きやすい職場環境を整える。	概ね達成できた デジタルツールの活用により職員間の連絡共有において効率化を図るとともに、職員間のコミュニケーションが円滑かつ確実にできるようになった。また部門を超えて業務を分担し合うなど、事業所全体として取り組めることができた。 一方で、制度上、事業所に求められる業務が年々増えており、一部の業務効率化は図れたものの、職員の時間外勤務の削減には至らなかったため、今後も継続して取り組んでいく。
(3)	療育を必要としている児や保護者への支援拡大のため、柔軟なクラス編成を行い、利用者の確保に努める。また、保護者の就労やレスパイト等を考慮し、関係機関とも連携しながら、適宜、日中一時支援事業の利用を進め、1日当たりの利用者を8人以上とする。	達成できた センターに1名、事業に4名の新規利用児を年度途中で受け入れることができた。また、保護者の就労やレスパイト、家庭支援ケースの増加に伴い、保育所等訪問支援事業での機関連携のほか、こども家庭センター等との適宜の連携も密に行うことができた。 日中一時支援については、1日平均8名の利用者を受け入れることができた。
(4)	地域の中核的な役割について市と定期的に打ち合わせを実施し、人員や組織体制、役割分担等協議を重ねる。	達成できた 中核的な役割について市と協議した結果、市内の児童発達支援事業所を集めての情報共有会を当園主導で実施することとした。これまで同様の会の実績がなかったため、事業所間の繋がりを新たに作ることができ、また就学後の関係機関との確実な情報共有の難しさなどの課題を共有することができた。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

																前年度		
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	前年度
センター	実在籍(契約)数		34	34	34	33	33	34	34	34	34	34	34	34	228		228	229
	開所日数		18	21	21	21	15	19	22	20	19	19	18	15	228		228	229
	延在籍数		597	711	702	685	495	639	731	675	646	637	609	507	7,634		7,166	
	延利用数		515	577	604	607	431	561	642	606	571	542	528	469	6,653		6,033	6,033
	分析	一日平均	28.6	27.5	28.8	28.9	28.7	29.5	29.2	30.3	30.1	28.5	29.3	31.3	29.2		26.3	
		出席率	86.3%	81.2%	86.0%	88.6%	87.1%	87.8%	87.8%	89.8%	88.4%	85.1%	86.7%	92.5%	87.1%		84.2%	
	訪問	実在籍(契約)数	2	3	3	3	6	8	9	9	9	10	10	10	18		16	16
		延利用数	0	0	1	1	0	5	2	0	1	1	4	3	18		16	16
	事業	実在籍(契約)数	17	16	16	16	16	16	20	20	20	20	20	20	2,004		2,805	
		開所日数	18	21	20	22	15	19	22	21	18	19	18	15	228		228	228
事業	延在籍数		145	165	158	176	122	148	214	214	171	180	170	141	2,004		2,805	
	延利用数		103	135	126	135	77	112	152	153	128	132	140	112	1,505		1,882	1,882
	分析	一日平均	5.7	6.4	6.3	6.1	5.1	5.9	6.9	7.3	7.1	6.9	7.8	7.5	6.6		8.3	
		出席率	71.0%	81.8%	79.7%	76.7%	63.1%	75.7%	71.0%	71.5%	74.9%	73.3%	82.4%	79.4%	75.1%		67.1%	

* 感染症等による出席停止数(上記外)は、センター56件、事業22件であった。

																前年度		
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	前年度
かめっこ	実在籍(契約)数		25	30	30	30	30	31	31	31	31	30	30	32	326		269	
	実利用者数		24	28	28	27	27	28	29	28	26	26	27	28	326		269	
	開所日数		21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20	239	1	240	237
	延利用数		135	176	158	177	140	177	183	164	155	148	143	151	1,907	4	1,911	1,530
	分析 一日平均		6.4	8.4	7.9	8.0	8.2	9.3	8.3	8.2	7.8	7.8	7.9	7.6	8.0		6.5	

ア 児童発達支援センター

発達段階や特性に合わせたクラスを編成し、週5日の単独通園を通じて、保護者から離れて身辺面や社会性、コミュニケーションの発達を促すことを目的に継続的な取り組みを行った。行動のコントロールが難しい子どもなどは個別に職員が対応し、子どもの様子や発達段階に合わせた支援を行った。子どもの様子や関わり方、家庭の状況については、日々の連絡帳や面談を通して保護者と共有し、専門指導を必要とする子どもを対象に、ニーズに合わせて専門職種の活用を積極的に実施した。

また、専門職員がクラス活動に参加し、子どもへの支援に加え保護者、クラス職員への支援も行った。発達段階に合わせた日々の活動に加え、季節の行事を取り入れるなど心身の発達を促す支援も行った。

イ 児童発達支援事業

親子通園を通して、発達段階や特性に合わせたクラスを編成し、早期から週2日～3日の療育を積み重ねるように実施することで、保護者支援、子どもの生活リズムの確立、日常の生活動作の向上、情緒面の安定を図った。

各クラスのカリキュラムに、理学療法士、作業療法士、公認心理師、言語聴覚士が参加し、子どもへの直接支援や療育スタッフへの後方支援等を取り入れた。

また、併用先の保育園や幼稚園、他事業所、子ども家庭センター等の関係機関との連携を強化し、生活全般を通しての支援に繋がった。

ウ 保育所等訪問支援

つつじ学園在園児と退園児の未就学児の他、卒園した就学児も対象に訪問を実施した。保育所等、学校における集団適応支援、後方支援、情報の共有を目的に実施した。

訪問後は、方針会議を開き、大きな集団での「過ごし」について、保育所等、学校、保護者、保育所等訪問支援員、公認心理師、担当職員間で課題を共有し連携を図った。結果として、子どもの特

性理解が深まり、特性に合った支援や関わりが子どもに提供され集団生活への適応につながった。

エ 日中一時支援

中学進学を理由に解除が5件（昨年度4件）、放課後等デイサービス利用事由による解除1件、その他1件の解除があった。その他1件については、家庭支援ケースであったため定員を超えて受け入れを行っていたが、入所施設利用に伴い利用終了となっている。

また、在籍はしているが通所に繋がらないケースが2件あり、必要に応じて家庭との連携を図り利用再開の機会を検討している。

新規受け入れについては未就学児7名、就学児1名の計8名が利用につながった。家庭事情の把握に努め、利用回数を年度途中で増やす、本来は保護者送迎のところ、かめっこ送迎車での送迎等、家庭事情に合わせた柔軟な対応を行った。

(2) 年齢・性別

	児童発達支援センター			児童発達支援事業			合計
	男	女	計	男	女	計	
2歳児	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	0	1	1	8	2	10	11
4歳児	14	2	16	5	1	6	22
5歳児	14	3	18	0	0	0	18
計	28	6	34	13	3	16	50

	日中一時支援		
	男	女	計
3歳児(年少)	0	0	1
4歳児(年中)	2	0	2
5歳児(年長)	6	1	6
小学1年生	6	3	2
小学2年生	2	0	0
小学3年生	0	0	6
小学4年生	1	1	7
小学5年生	4	0	8
小学6年生	5	0	5
計	26	5	37

(3) 障害種別

	身体障害							知的障害				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
センター	0	0	0	0	0	0	0	0	8	5	8	21
事業	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
計	0	0	0	0	0	0	0	0	10	6	8	24

	重複							小計	未交付	合計
	身1級 A1	身1級 A2	身1級 B2	身2級 A1	身2級 A2	身3級 A2	身3級 B2			
センター	0	0	0	0	0	0	0	0	13	34
事業	1	0	0	0	0	0	0	1	12	16
計	1	0	0	0	0	0	0	3	26	57

* 未交付の中には療育手帳を取得したくても、発達数値が該当しないケースあり。

	身体障害							知的障害				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
日中一時	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7	11	24

	重複			未交付	合計
	身1級 A1	身2級 A1	小計		
日中一時	0	1	1	6	31

(4) 診断名

	ダウン症 等症候群	自閉症 スペクト ラム	その他	診断名 なし	計
センター	1	9	5	19	34
事業	1	0	3	12	16
計	2	9	8	31	50

(5) 入園経路

	こども センター	総合療 育相談 センター	幼稚園 保育園	他施設	学園内 発達支 援事業	転居	行政 (保健所 等)	児相	家庭	相談事 業所	計
センター	2	0	0	0	19	0	0	0	0	0	21
事業	15	1	0	0		0	0	0	0	0	16
計	17	1	0	0	19	0	0	0	0	0	37

(6) 退園経路

	学校				幼稚園 保育園	他施設	学園内 発達支 援センター	転居	家庭	その他	計
	支援 学校	支援 学級	通常 学級	小計							
センター	7	9	1	17	0	0		0	0	0	17
事業	0	0	0	0	0	3	13	0	0	2	18
計	7	9	1	17	0	3	13	0	0	0	35

4 支援内容

(1) 日課表

児童発達支援センター		児童発達支援事業	
8:30	職員勤務開始 送迎車出発	8:30	職員勤務開始
10:00	送迎車到着 朝の支度 集まり	10:00	登園 朝の支度 自由遊び
11:00	部屋別活動	10:20	朝の集まり リラックス体操 身体遊び 個別機能訓練
11:45	給食 自由遊び	11:20	部屋別活動
13:00	部屋別活動	11:50	給食 自由遊び
13:45	帰りの支度 集まり	12:55	帰りの集まり
14:00	送迎車出発 降園	13:15	降園
17:15	職員定時退勤	17:15	職員定時退勤

日中一時支援事業			
通常期間		小学生長期休み期間	
13:00	職員勤務開始	8:45	職員勤務開始 送迎車出発
14:00	未就学児受入れ 支度 ※送迎車出発 (小学生の下校時間による) 室内遊び	10:00	送迎車到着 支度 園外活動
		12:15	帰園 昼食
15:00	おやつ 休息	13:15	自由遊び
15:30	屋外遊び	15:00	おやつ 休息
16:40	帰りの集まり	15:40	帰りの集まり
17:00	帰りの送迎車出発 降園 * 未就学児は保護者送迎	16:00	送迎車出発 降園 * 未就学児は保護者送迎
18:30	職員定時退勤	17:30	職員定時退勤

(2) 専門職による指導訓練

区分	日数	延人数
公認心理師	171	194
言語聴覚士(ST)	110	113
作業療法士	96	143
理学療法士	125	171
計	502	621

個別指導だけではなく、集団活動に参加し様子を観察、指導していただく時間を設定することで、集団での課題等を保護者、専門職員、クラス職員で共有することができた。

子どもの指導だけではなく、保護者支援が必要なケースは専門職員と面談する時間を定期的に取り入れ、フォローを行った。

指導職員の知識向上のため、専門職員による研修を実施した。

(3) 嘱託医師による検診

区分	日数	集団検診延人数			個別検診延人数		
		センター	事業	計	センター	事業	計
精神科	24			0	35	7	42
小児科	23	75	13	88	4	1	5

精神科の個別健診において、事業は新入園児を対象とし、小児科の個別検診はセンターと事業ともに新入園児を対象に実施した。

5 研修・会議等

(1) 研修

	内部研修	日数	延人数
つ つ じ 学 園	虐待防止・身体拘束廃止研修	6	58
	心理研修（乳幼児のあそびとこころの発達）	1	21
	ST研修（ことばのない子のコミュニケーション）	1	24
	PT研修（遊びをとおして行う運動への配慮について）	1	22
	感染症対策研修	1	19
	普通救命講習Ⅲフィールドバック研修	1	25
	精神科嘱託医による研修（ASD/MR/ADHDも概要）	1	25
	コンプライアンス研修フィールドバック研修	1	23
	BCP訓練（MCA無線使用、発電機訓練）	1	25
	福祉避難所設営訓練	1	29
	防犯研修（園庭にて送迎バスを使用した訓練）	1	23
	AED研修	1	23
	災害伝言ダイヤル171使用訓練	2	57
	事業ケース検討会	1	24

	どんぐりさんによる手作りおもちゃ講座	1	12
	看護師による研修（嘔吐処理について）	1	23
	看護師による研修（水頭症について）	1	22
	計	23	455
か め っ こ	虐待防止・身体拘束廃止研修	1	10
	避難・防犯研修	1	10
	自然災害業務継続計画研修	1	10
	療育研修	1	10
	計	4	40

外部研修	主催	日数	延人数
接遇・マナー研修	神奈川県社会福祉協議会	2	6
令和6年度特定給食施設全体講習会	茅ヶ崎市保健所	2	2
神奈川県サービス管理責任者・ 児童発達支援管理責任者更新研修	NPO法人かながわ障がいケアマネ ジメント従事者ネットワーク	2	6
神奈川県サービス管理責任者・ 児童発達支援管理責任者基礎研修	NPO法人かながわ障がいケアマネ ジメント従事者ネットワーク	1	1
神奈川県サービス管理責任者・児童発 達支援管理責任者実践研修	NPO法人かながわ障がいケアマネ ジメント従事者ネットワーク	2	2
コンプライアンス研修	社会福祉法人 福利厚生センター	1	1
医療的ケア児等コーディネーター養成研修	神奈川県立こども医療センター	11	11
茅ヶ崎市寒川町障害児通所事業所連絡会	茅ヶ崎障がい福祉課 寒川町健康福祉部福祉課	3	3
救命講習（普通救命講習Ⅲ）	茅ヶ崎市消防署消防指導課	1	1
心身障碍児保育研究会	心身障碍児保育研究会	2	2
安全運転研修（ベテランドライバー向け）	神奈川安全運転研修センター	1	3
特定給食施設等種別講習会	茅ヶ崎市保健所	1	1
コーチング研修	神奈川県社会福祉協議会	1	2
新人指導力強化研修	神奈川県社会福祉協議会	1	2
安全運転管理者研修	神奈川県安全運転管理者連絡会	1	1
防火管理研修	一般財団法人日本防火・防災協会	2	2
神奈川県指導講習	神奈川県障がいサービス課	1	1
特別支援教育発表会	学校教育指導課	1	1
計		36	48

(2) 会議

内部会議	日数	延人数
職員会議	13	314
職員会議（かめっこ）	10	100
計	23	414

外部会議	主催	日数	延人数
特別支援教育担当者会兼教育センター 青少年教育相談事業等説明会	学校教育指導課	1	1
自立支援協議会代表者会議	茅ヶ崎市障がい福祉課	2	2
自立支援協議会運営会議	茅ヶ崎市障がい福祉課	1	1
自立支援協議会就学後の相談のしくみ部会	相談支援センターつみき	3	3
浜須賀中学校学校運営協議会	浜須賀中学校	4	4
茅ヶ崎市障害者施設連絡会定例会	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	1	1
県内公立障害者通園施設連絡協議会	県内公立障害児通園施設連絡協議会	2	2
福祉避難所打合せ	茅ヶ崎市障がい福祉課	2	2
地域ケア会議	浜須賀地区地域包括支援センターあさ	1	2
定例会	茅ヶ崎市寒川町障害児通所支援事業連絡会	3	3
計		20	21

6 その他

(1) 給食

区分	提供数		栄養相談
	年間	1日あたり	延人数
センター	6,069	26.7	1
事業	1,307	8.8	1
計	7,376	35.5	2

	目標	提供	推定摂取
熱量 (kcal)	420	461	417
蛋白質 (g)	17	21.1	19

5月にそらまめのさやむき体験。7月にとうもろこしの皮むき体験を実施した。むいたそらまめやとうもろこしは茹でてその日の給食の時間に提供した。どちらの体験も普段決まったものしか食べない児が口にできたり、食材に興味を持つ児も多くみられた。

また、秋にはさつま芋ほり体験をした。収穫したさつま芋は家庭に持ち帰ったり、給食で提供した。季節ごとに行事食を取り入れ、1月は七草ごはんを提供。七草を別に用意し、児の様子にあわせ食べられるよう配慮した。

(2) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用児	職員	その他	計	場所	想定
4月23日	35	28	14	77	1階調理室	火災避難訓練
5月15日	36	27	5	68	1階調理室	火災避難訓練
6月11日	41	20	9	70	1階調理室	地震火災避難訓練
7月10日	34	22	5	61	1階調理室	火災、水害避難訓練
8月20日	32	22	8	62	1階調理室	地震火災避難訓練

8月7日	30	25	2	57		地震津波避難訓練
9月11日	37	28	7	72	2階配膳室	地震火災避難訓練
10月3日	30	14	30	74		センター引き渡し訓練
10月15日	34	25	7	66	2階りんご部屋	火災避難訓練
11月13日	25	20	5	50	1階調理室	地震火災避難訓練
11月22日	38	29	8	75		親権を争う父親が連絡なしに子どもを連れて帰ろうと来園したことを想定した避難訓練
12月10日	40	26	11	77	1階調理室	火災避難訓練
12月26日	0	25	4	29		福祉避難所設営訓練
1月29日	36	22	10	68	1階調理室	ガス爆発火災避難訓練
2月18日	36	29	13	78	1階調理室	火災避難訓練
3月7日	29	24	14	67	1階調理室	火災避難訓練
4月20日 (日中一時)	5	2	0	7	浜須賀中学校	津波避難訓練

(3) 年間行事

実施日	行事内容
4月1～4日	自宅療育日
4月3日	入園式
5月13～16日	事業部屋別懇談会（ひよこ、ぺんぎんABD）
5月20～24日	センター部屋別懇談会
6月5～7日	事業家族参観週間（ひよこ、ぺんぎんA）
6月8日	事業家族参観（ひよこ、ぺんぎんA）
6月29日	家族参観日（センター）
7月2～4日	事業家族参観週間（ぺんぎんA・D）
7月6日	家族参観日（センター・ぺんぎんA・D）
8月9～16日	自宅療育日 *日中一時支援は14～16日
10月21～25日	センター運動会週間
10月16、18日	事業家族参観週間（ひよこ、ぺんぎんA）
10月19日	事業家族参観日（ひよこ、ぺんぎんB）
11月16日	学園祭
11月5、7日	事業部屋別懇談会（ぺんぎんB・D）
11月21日	歯科検診
11月26～28日	事業家族参観週間（ぺんぎんA・D）
11月30日	事業家族参観日（ぺんぎんB・D）
12月7日	センター家族参観日
12月23～25日	クリスマス会（センター・事業）
12月28日 ～1月3日	自宅療育日及び年末年始休業
1月14～17日	事業部屋別懇談会

2月3～5日	豆まき
2月25日 ～3月3日	センター部屋別懇談会
3月24日	卒園式
3月25～31日	自宅療育日

夏場はプール遊びや泥遊び、秋は芋ほりに参加するなど季節の活動、行事を取り入れることができ、子ども達が楽しむ様子が見られた。家庭では経験できない活動、行事もあり、経験の幅を広げることができた。

センターでは、運動会週間を設け、段階に合わせた設定にてクラスごとに実施した。学園祭は引き続き3部制の実施とし、卒園した家族の招待や日中一時支援事業の利用者も参加可能とした。

日中一時支援では、つつじ学園の環境を生かし、部屋での活動の他、屋上や集会室、園庭等粗大活動の機会を多くとった。長期休み時には近隣の公園や展示館等、長い利用時間でも楽しめるように日々外出先を設けて過ごした。また、コロナ禍で中止していたクッキングや買い物体験、外食体験も実施した。

(4) 保護者研修会

実施なし

(5) 事業所評価

児童発達支援ガイドラインに基づき、事業所自己評価及び保護者等からの事業所評価を実施し、それぞれの評価は法人ホームページに公表している。なお、センター（回収率85%：配布34件/回収29件）、事業（回収率75%：配布20件/回収15件）であり、回収できたものの満足度は100%であった。

(6) 保護者アンケート/日中一時支援利用対象

施設利用の満足度調査のため、2月末までの契約者に対し3月にアンケートを実施した。（回収率52%：配布27件/回収14件）

支援や衛生管理については概ねよい評価をいただいたが、保護者との連絡方法や支援環境、スペースについては課題が挙がった。

(7) 車両の運行状況

（通園バス：シビリアン）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	641	793	788	819	575	710	801	774	710	709	681	520	8,521	710.1
運行日数 (日)	17	11	21	21	16	19	22	19	19	19	18	14	216	18.0
平均走行 距離(km/日)	37.7	72.1	37.5	39.0	35.9	37.4	36.4	40.7	37.4	37.3	37.8	37.1		39.4

（送迎車：セレナ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	177	269	276	274	230	321	627	582	582	578	554	496	4,966	413.8
運行日数 (日)	17	21	21	21	15	19	22	19	19	19	18	18	229	19.1
平均走行 距離(km/日)	10.4	12.8	13.1	13.0	15.3	16.9	28.5	30.6	30.6	30.4	30.8	27.6		21.7

(送迎車：キャラバン)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	904	1,059	220	226	846	991	1,102	941	915	916	877	568	9,565	797.1
運行日数 (日)	17	21	16	18	15	19	22	19	19	19	18	12	215	17.9
平均走行 距離(km/日)	53.2	50.4	13.8	12.6	56.4	52.2	50.1	49.5	48.2	48.2	48.7	47.3		44.5

(SAKURA)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	80	62	220	226	65	111	124	168	166	114	200	283	1,819	151.6
運行日数 (日)	9	9	16	18	10	12	14	11	10	12	13	16	150	12.5
平均走行 距離(km/日)	8.9	6.9	13.8	12.6	6.5	9.3	8.9	15.3	16.6	9.5	15.4	17.7		12.1

(ハイエース/日中一時支援)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	396	562	409	675	538	351	282	14	55	35	135	256	3,708	309.0
運行日数 (日)	17	20	17	20	15	16	12	1	4	2	7	17	148	12.3
平均走行 距離(km/日)	23.3	28.1	24.1	33.8	35.9	21.9	23.5	14.0	13.8	17.5	19.3	15.1		25.1

(セレナ/日中一時支援)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	264	243	267	197	251	273	460	505	617	571	484	596	4,728	394.0
運行日数 (日)	18	19	18	13	11	14	20	18	20	21	17	20	209	17.4
平均走行 距離(km/日)	14.7	12.8	14.8	15.2	22.8	19.5	23.0	28.1	30.9	27.2	28.5	29.8		22.6

(N-BOX/日中一時支援)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	378	390	388	376	236	368	404	358	333	364	327	318	4,240	353.3
運行日数 (日)	21	12	19	20	14	19	23	20	20	18	17	19	222	18.5
平均走行 距離(km/日)	18.0	32.5	20.4	18.8	16.9	19.4	17.6	17.9	16.7	20.2	19.2	16.7		19.1

(アルト/日中一時支援)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	65	171	144	68	27	205	191	290	273	184	206	209	2,033	169.4
運行日数 (日)	7	15	12	12	5	15	18	19	18	15	15	17	168	14.0
平均走行 距離(km/日)	9.3	11.4	12.0	5.7	5.4	13.7	10.6	15.3	15.2	12.3	13.7	12.3		12.1

(7) 教育実習生の受け入れ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	0	0	0	0	3	2	0	1	0	0	4	1	11
延べ日数	0	0	0	0	35	24	0	12	0	0	47	12	130

1 基本方針

（就労移行・就労継続B型）

障害のある方が働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

利用者一人ひとりの希望や実態に則した目標を設定し、施設内・外での作業を通じて自立した社会生活と一般就労へ向けての支援を行います。

（就労継続B型）

利用者が地域で経済的にも自立して生活するために、工賃水準の引き上げを目指します。

2 令和6年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	就労移行 就労者1名を輩出する。	達成できた 利用者1名が実習と面接を経て、市内の特別養護老人ホームに就労した。
(2)	就労移行 就労者のアフターフォローを充実する。	達成できた 就労者のアフターフォローでは、生じている諸問題により就労先を訪問するケースが増えているが、就労支援員の適切な対応により離職者もなく19名の雇用が継続している。
(3)	就労継続B型 利用者や保護者の満足度向上。	達成できた 利用者の工賃向上を目的とし、(株)FVPとコンサルティング契約を結び工賃向上計画策定に向け協議した。企業等への単価交渉や新規作業の取り組みにより月額平均工賃は25,535円、利用者アンケートでのサービスに関する満足度は82%だった。
(4)	就労継続B型 虐待を発生させない体制づくり。	達成できた 利用者に対し虐待や消費トラブルについての勉強会を年4回、職員に対しては虐待防止と身体拘束についての研修を年2回実施した。また、虐待発生時の対応についてシュミレーションを実施した。

3 利用者の状況

(1) 利用状況(代替支援・施設実習を含む。)

																	前年度			
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	總數	計	臨時開所	總數
赤羽機 継続B型	移行	実在籍(契約)数	6	5	5	4	4	4	4	4	4	7	5	3						
		開所日数	21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20	239	12	251	236	14	250
		延在籍数	126	105	100	88	68	76	88	80	80	82	54	60	1,007			1,400		
		延利用数	86	89	77	62	47	60	60	56	60	54	34	33	718	16	734	1,144	26	1,170
		分析	一日平均	4.1	4.2	3.9	2.8	2.8	3.2	2.7	2.8	3.0	2.8	1.9	1.7	3.0			4.8	
	出席率		68.3%	84.8%	77.0%	70.5%	69.1%	78.9%	68.2%	70.0%	75.0%	65.9%	63.0%	55.0%	71.3%			81.7%		
	継続B型	実在籍(契約)数	28	27	27	28	28	28	28	28	28	28	30	30						
		開所日数	21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20	239	23	262	236	22	258
		延在籍数	588	565	540	616	476	532	616	560	560	532	540	600	6,725			6,587		
		延利用数	468	487	476	540	393	438	519	483	479	456	449	497	5,685	205	5,890	5,530	242	5,772
分析		一日平均	22.3	23.2	23.8	24.5	23.1	23.1	23.6	24.2	24.0	24.0	24.9	24.9	23.8			23.4		
	出席率	79.6%	86.2%	88.1%	87.7%	82.6%	82.3%	84.3%	86.3%	85.5%	85.7%	83.1%	82.8%	84.5%			84.0%			

上記のほか、茅ヶ崎支援学校の在校生、相談支援事業所等からの紹介で、22 名が見学、14 名（延べ日数 54 日）が実習を行い、5 名が利用につながった。一般就労者は 1 名、個人的な事情により 3 名が退所した。

65 歳を超える利用者が 4 名在籍しているが、可能な限り就労継続支援 B 型のサービス利用継続を希望している。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	7	7	5	4	1	1	1	26
女	1	1	2	2	0	1	0	7
計	8	8	7	6	1	2	1	33

(3) 障害種別

	身体障害							知的障害				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
就労移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
就労継続B	5	4	1	0	1	0	11	0	2	10	3	15
計	5	4	1	0	1	0	11	0	2	11	5	18

	精神障害				重複				合計
	1級	2級	3級	小計	身2級	身6級	身4級	小計	
					A1	精3級	B2		
就労移行	0	0	0	0	0	0	0	0	3
就労継続B	0	2	0	2	0	1	1	2	30
計	0	2	0	2	0	1	1	2	33

(4) 障害支援区分

	1	2	3	4	5	6	未取得	計
就労移行	0	0	1	0	0	0	2	3
就労継続B	1	5	2	1	1	0	20	30
計	1	5	3	1	1	0	22	33

(5) 居住地域

	市内	市外	計
就労移行	3	0	3
就労継続B	29	1	30
計	32	1	33

(6) 居住形態

	家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
就労移行	2	1	0	3
就労継続B	22	7	1	30
計	24	8	1	33

(7) 生活支援の概要

利用者がトラブルに巻き込まれないよう、障害者虐待や消費トラブルに関する利用者向け勉強会を年4回実施した。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労

区分	性別	年齢	就労日	就業先	業務内容
就労移行支援	女	20代	令和6年4月1日	市内特別養護老人ホーム	リネン業務

イ 職場実習

なし

ウ 施設外就労

主な企業名	業務内容	延べ回数	延べ人数
茅ヶ崎市、介護の会まつなみ、 温故知新開工房など	除草、清掃	139	421

エ 就労支援の概要

利用者1名が実習と面接を経て、市内の特別養護老人ホームに就労した。就労者のアフターフォローでは、生じている諸問題により就労先を訪問するケースが増えているが、就労支援員の適切な対応により離職者もなく19名の雇用が継続している。

就労移行支援の利用を希望する方が減少しているため、今後は就労移行支援や就労継続支援B型の所属にかかわらず、日々の生産活動の実践を通じた支援を行い、就労者を輩出していく。

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	軽作業	清掃	印刷	弁当販売	計
令和2年度	6,294,487	3,307,066			9,601,553
令和3年度	5,948,284	3,187,023			9,135,307
令和4年度	5,634,851	3,270,806			8,905,657
令和5年度	4,752,108	3,746,180			8,498,288
令和6年度	4,852,045	5,789,684			10,641,729
令和6年度(目標)	6,700,000	6,188,000			12,888,000

イ 平均工賃

単位：円

	年間配分金	月額平均
就労移行	892,789	25,654
就労継続B	6,864,010	25,535
計	7,756,799	

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	コバシ(株)、フジケース(株)、ユナイトパック(株)、高野商店など
清掃	茅ヶ崎市下水道河川管理課、スポーツ推進課、介護の会まつなみなど

エ 作業支援と工賃の概要

令和6年度の売上げは10,641,729円で、前年度比125.2%、金額にして2,143,441円増加した。内訳は軽作業が99,937円、清掃作業が2,043,504円増加した。就労継続B型の月額平均工賃は25,535円で前年度比119.4%、金額にして4,157円増加した。

除草作業では茅ヶ崎市からの仕様に対し対応できる業者がなく、実績のある赤羽根に依頼が多くあったことや、(株)FVPによる工賃向上に向けたコンサルティングを受け、これまでの取り組みと実績に自信を持って単価交渉を行った結果、大幅な収入増となり月額平均が25,000円を超えることができた。

5 研修・会議等

(1) 研修

内部研修	日数	延人数
新採用職員研修（虐待防止と身体拘束廃止の推進）	2	2
能登半島地震災害派遣報告	1	10
感染症と食中毒の予防及びまん延防止	1	10
虐待防止と身体拘束	2	19
計	6	41

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数
指定障害福祉サービス事業所指導講習会	神奈川県	1	1
障害者総合支援法の基礎	かながわ福祉サービス振興会	1	1
個人情報とプライバシー保護	かながわ福祉サービス振興会	1	9
メンタルヘルスケア	かながわ福祉サービス振興会	1	1
自閉症の基礎	かながわ福祉サービス振興会	1	9
障害者虐待防止・身体拘束等の適正化	かながわ福祉サービス振興会	1	9
ハラスメント予防対策	かながわ福祉サービス振興会	1	1
感染症・食中毒の予防及び拡大防止	かながわ福祉サービス振興会	1	1
業務継続計画の策定・運用	かながわ福祉サービス振興会	1	1
社会福祉基礎研修（初任編）	神奈川県社会福祉協議会	1	1
接遇・マナー研修	神奈川県社会福祉協議会	1	1
初任者キャリアパス対応生涯研修	神奈川県社会福祉協議会	2	1
コミュニケーション研修	神奈川県社会福祉協議会	1	1
就労選択支援についての研修会	神奈川県社会福祉協議会	1	1
新任福祉・介護施設等合同交流研修会	神奈川県	1	1
新任福祉・介護施設等合同研修会	神奈川県	1	1
工賃向上計画セミナー	神奈川県	1	1
神奈川就労選択支援連絡会説明会	神奈川県	1	1
神奈川県意思決定支援ガイドライン研修	神奈川県	1	1
意思決定支援とは	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	1	8
就業基礎研修	神奈川障害者職業センター	3	3
強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	社会福祉法人光友会	2	2
計		26	56

(2) 会議

内部会議	日数	延人数
サービス担当者会議及び個別支援会議	4	84
身体拘束廃止会議	2	14
虐待防止検討会議	1	6
個別支援マニュアル作成会議	3	30
計	10	134

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎市自立支援協議会就労・生活支援部会	茅ヶ崎市	3	3
湘南障害者就業・生活支援センター会議	湘南地域就労援助センター	1	1
茅ヶ崎市障害者施設連絡会	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	5	5
チーム支援会議	ハローワーク	12	12
茅ヶ崎市地域福祉計画推進委員会	茅ヶ崎市	2	2
計		23	23

(3) 職員の派遣

研修会等の名称	依頼元	日数	延人数
能登半島地震介護職員等応援派遣	厚生労働省	3	3
計		3	3

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
9月30日	23	7	1	31	赤羽根	地震発生を前提とした二次災害「火災」正面玄関前の民家から出火を想定。
3月31日	23	9	0	32	赤羽根	地震発生を前提とした二次災害「火災」正面玄関前の民家から出火を想定。

(2) 利用者アンケート

施設利用の満足度調査として、9月に利用者アンケートを実施した。(回収率 71%：配布 28/回収 20)

施設のサービスに対する満足度は 82.1% (前年度 69.6%)、作業工賃額に対する満足度は 50.0% (前年度 34.8%) であった。ご意見・ご要望等へ寄せられた内容については、可能な範囲で対応した。

(3) 年間行事

実施日	行事内容
5月13日	利用者勉強会 (虐待について)
6月8日	お楽しみ弁当
7月25日	利用者勉強会 (虐待について)
9月24日	お楽しみ弁当
9/2～9/30	保護者面談
10月31日	利用者勉強会 (詐欺被害について)
11月16日	つつじ学園祭 (クラフト品販売)
12月7日	パインナッツバザー (クラフト品販売)
12月25日	お楽しみ弁当
12月27日	利用者勉強会 (消費トラブルについて) 納め会
2/3～2/28	保護者面談
3月15日	パインナッツバザー (クラフト品販売)
3月27日	お楽しみ弁当

お楽しみ弁当を年4回実施し、外食チェーン店等のテイクアウト弁当が大変好評であった。新たな制作品として作業廃材を活用したクラフト品 (メモ帳やポチ袋など) を制作し、つつじ学園祭やパインナッツバザーにて販売した。

(4) 車両の運行状況

(キャラバン)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	108	318	380	242	196	185	357	374	302	168	379	295	3,304	275.3
運行日数 (日)	10	16	17	16	14	15	19	22	19	9	21	18	196	16.3
平均走行 距離(km/日)	10.8	19.9	22.4	15.1	14.0	12.3	18.8	17.0	15.9	18.7	18.0	16.4		16.9

(ダイナ①)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	330	278	191	353	177	260	305	204	236	219	187	232	2,972	247.7
運行日数 (日)	15	17	12	20	13	19	18	17	16	16	15	18	196	16.3
平均走行 距離(km/日)	22.0	16.4	15.9	17.7	13.6	13.7	16.9	12.0	14.8	13.7	12.5	12.9		15.2

(ダイナ②)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	360	308	237	314	198	237	234	254	273	196	249	269	3,129	260.8
運行日数 (日)	16	17	13	17	14	15	16	14	16	16	14	20	188	15.7
平均走行 距離(km/日)	22.5	18.1	18.2	18.5	14.1	15.8	14.6	18.1	17.1	12.3	17.8	13.5		16.6

(ピクシス)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	166	168	199	251	181	194	230	293	222	217	200	219	2,540	211.7
運行日数 (日)	20	20	20	21	17	19	22	21	20	17	18	21	236	19.7
平均走行 距離(km/日)	8.3	8.4	10.0	12.0	10.6	10.2	10.5	14.0	11.1	12.8	11.1	10.4		10.8

ふれあい活動ホームあかしあ事業報告（生活介護）

1 基本方針

利用者一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性に応じた支援計画を作成し、利用者が「昨日は楽しかった。今日も楽しい、明日も楽しい一日でありたい。」と思えるような支援を行う。

（１）利用者はかけがえのない人であるという認識のもと、利用者の自己実現のために利用者の思いや希望を丁寧に読み取り、笑顔で優しく支援を行う。

（２）利用者は社会の対等の構成者であるという認識のもと、利用者が地域との繋がりを深め、地域でも自分らしい生活を送れるように、利用者の地域行事への積極的参加の支援を行う。

2 令和6年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	個別対応が必要な利用者の活動の充実	達成できた 集団のなかで自主製品製作に取り組むことが難しい利用者に対し、個別支援スペースを確保したほか、屋内ではシール貼り等の机上の活動、屋外では洗車や散歩を日常活動として定着させることができた。利用者が安心して過ごせる環境を整え、活動の充実を図ることができた。
(2)	移転に向けての準備を茅ヶ崎市と相談しながら進める。	達成できた 移転準備として、活動内容の見通しをつけ、市との協議を重ね、移転予定建物の基本的な改修内容を市へ提案することができた。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

																	前年度			
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	課時間所	総数	計	課時間所	総数
あ か し あ	生活 介護	実在籍(契約)数	16	16	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17						
		開所日数	21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20	239	12	251	236	10	246
		延在籍数	336	336	320	352	272	304	352	337	340	323	306	340	3,918			3,937		
		延利用数	299	292	271	313	232	252	304	300	304	278	273	279	3,397	95	3,492	3,572	95	3,667
	分析	一日平均	14.2	13.9	13.6	14.2	13.6	13.3	13.8	15.0	15.2	14.6	15.2	14.0	14.2			15.1		
出席率		89.0%	86.9%	84.7%	88.9%	85.3%	82.9%	86.4%	89.0%	89.4%	86.1%	89.2%	82.1%	86.7%			90.7%			

上記のほか、茅ヶ崎支援学校、白浜養護学校などから13名が見学、5名が実習（延べ日数20日）を行い、1名が年度中に、3名が令和7年度からの利用につながった。

利用者3名が長期入院（3週間～3か月程度）したが、退院後は利用を再開している。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	5	1	2	1	1	0	0	10
女	1	2	0	3	1	0	0	7
計	6	3	2	4	2	0	0	17

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	1	0	0	0	0	1	4	7	3	0	14

精神障害				重複			合計
1級	2級	3級	小計	身1級 A1	身2級 A2	小計	
0	0	0	0	1	1	2	17

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
0	0	1	7	5	4	0	17

(5) 居住地域

市内	市外	計
15	2	17

(6) 居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
10	6	1	17

*うち3名は自宅とグループホームを併用

(7) 生活支援の概要

月2回の看護師巡回時の記録を保護者と共有し、体重減少傾向にあった利用者の食事量の調整などを行い健康管理に努めた。

車椅子を利用している利用者の姿勢保持については理学療法士から助言をもらい座面やひじ掛けの調整などを行った。

4 事業内容

(1) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	自主製品	軽作業	計
令和2年度	385,690	57,320	443,010
令和3年度	541,420	43,180	584,600
令和4年度	673,965	76,703	750,668
令和5年度	620,030	42,594	662,624
令和6年度	563,250	76,226	639,476
令和6年度(目標)	477,000	30,000	507,000

イ 平均工賃

単位：円

年間配分金	月額平均
408,300	2,062

ウ 作業支援と工賃の概要

令和6年度の売上げは639,476円で、前年度比96.5%となり、金額にして23,148円減少した。

工賃は1日出席ごとに100円支給した。年間を通して売上が目標を上回ったため、年度末の工賃を加算支給することができた。

集団活動や着座の活動が苦手な利用者には、新たにシール貼りや洗車を取り入れ集中して活動に向かうことができた。受注作業では治具を用いることで多くの利用者が取り組むことができ、職員には作業手順書を作成したことで円滑に作業を進めることができた。

5 研修・会議等

(1) 研修

内部研修	日数	延人数
虐待防止・身体拘束	2	17
感染症対策	1	8
救急救命	1	8
コンプライアンス	1	8
危機管理・BCP	5	33
計	10	74

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数
指定障害福祉サービス事業所指導講習会	神奈川県	1	1
チームリーダーキャリアパス対応生涯研修	神奈川県社会福祉協議会	2	2
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修	かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	2	2
接遇講習会（管理職向け）	福利厚生センター	1	1
虐待防止研修	茅ヶ崎市地域作業所連絡会	1	1
強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	（社福）清和会	2	2
意思決定支援とは	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	1	4
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者実践研修	シニール研修・研究機構	2	2
計		12	15

（２）会議

内部会議	日数	延人数
職員会議	12	103
身体拘束廃止会議	2	4
サービス担当者会議及び個別支援会議	7	15
計	21	122

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎市地域作業所連絡会	茅ヶ崎市地域作業所連絡会	14	14
茅ヶ崎市障害者施設連絡会	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	5	5
計		19	19

6 その他

（１）防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
5月27日	11	7	0	18	あかしあ玄関前	火災(消火・避難訓練)
7月5日	13	6	0	19	あかしあ施設内	不審者侵入
10月24日	15	7	1	23	あかしあ玄関前	地震・火災(消火・避難訓練)
1月24日	14	5	1	20	あかしあ玄関前	地震・火災(消火・避難訓練)

（２）利用者アンケート

施設利用の満足度調査として、9月に利用者アンケートを実施した。（回収率 86.7%：配布 15 件/回収 13 件）

支援計画については平均 76.9%、職員の対応については平均 84.6%となり、総合的には 76.9%の満足度を得られた。

(3) 保護者懇談会

実施日				備考
	保護者	職員	計	
4月23日	9	2	11	
7月30日	6	2	8	臨時
10月31日	6	2	8	

(4) 年間行事

実施日	行事内容
4/23	保護者懇談会
5/12	アロハマーケット ワークショップ出店
5/27	防災避難訓練
6/24～28	春のふれあい作品展
7/5	防犯避難訓練
7/25	スイカ割り
7/30	臨時保護者説明会
8/6	うみかぜテラス ワークショップ出店
9/2～6	茅ヶ崎・寒川障害者作品展示即売会
9/3～10/29	茅ヶ崎徳洲会病院 作品展示
10/6	松浪地区福祉ふれあいまつり
10/22	秋祭り（夏祭り延期の振り替え）
10/24	防災避難訓練
10/31	保護者懇談会
11/8	茅作連ふれあい交流会
12/2～12/13	秋のふれあい作品展
12/5	障害者週間街頭キャンペーン
12/27	大掃除・お楽しみ会
1/24	防災避難訓練
2/3	豆まき
2/4～10	Branch作品展
3/1	小和田公民館まつり
3/10～14	茅ヶ崎・寒川障害者作品展示即売会

うみかぜテラスからの依頼を受け、木工コースターのワークショップをアロハマーケットと夏休み期間中の学童向けの2回出店し、多くの地域住民に参加いただいたことで、あかしあの認知度や障害理解を促進することができた。

(5) 車両の運行状況

(セレナ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	631	614	645	710	532	694	746	675	769	652	632	667	7,967	663.9
運行日数 (日)	21	21	20	23	17	21	24	21	20	20	20	22	250	20.8
平均走行 距離(km/日)	30.0	29.2	32.3	30.9	31.3	33.0	31.1	32.1	38.5	32.6	31.6	30.3		31.9

(ビクシス)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	692	717	694	679	253	302	511	616	620	664	606	694	7,048	587.3
運行日数 (日)	21	22	20	23	17	19	23	20	20	19	19	21	244	20.3
平均走行 距離(km/日)	33.0	32.6	34.7	29.5	14.9	15.9	22.2	30.8	31.0	34.9	31.9	33.0		28.9

(サンバー)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	185	192	253	257	219	210	198	262	244	202	214	248	2,684	223.7
運行日数 (日)	16	17	17	20	13	17	19	17	16	13	14	19	198	16.5
平均走行 距離(km/日)	11.6	11.3	14.9	12.9	16.8	12.4	10.4	15.4	15.3	15.5	15.3	13.1		13.6

(6) 教育実習生の受け入れ

11月から12月にかけて1名(延べ日数11日)の教育実習生を受け入れた。

ふれあい活動ホーム第2 あかしあ事業報告（就労継続B型）

1 基本方針

障害のある方が、働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援する。利用者の個性や障害特性を尊重した、心のかよいあうサービスを基本とした施設運営に努めていく。

2 令和6年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	高齢化、体力低下してきた利用者が安心して過ごせる環境づくり。	達成できた 高齢の利用者などが安心して過ごせるよう、床の段差を分かりやすくするための目印をつけたり、動線を考え通路を確保するなど環境づくりに力を入れたことにより、転倒などの事故を未然に防ぐことができ、環境に対する利用者満足度は約90%を得ることができた。
(2)	将来の生活に不安があるご家庭への支援。	達成できた 年2回のご家庭との面談を通して、相談先が途切れているご家庭への支援やご家族の高齢化を理由としたグループホームの入居など、本来業務に加えてきめ細やかな支援を行った。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

																	前年度			
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	總數	計	臨時開所	總數
第2 あかし あ	継続 B型	実在籍(契約)数	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	29						
		開所日数	21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20	239	9	248	236	6	242
		延在籍数	630	630	600	660	510	570	660	600	600	551	522	567	7,100			6,957		
		延利用数	497	502	445	504	369	450	532	469	468	447	423	470	5,576	118	5,694	5,580	71	5,651
		分析	一日平均	23.7	23.9	22.3	22.9	21.7	23.7	24.2	23.5	23.4	23.5	23.5	23.5	23.3			23.6	
出席率	78.9%		79.7%	74.2%	76.4%	72.4%	78.9%	80.6%	78.2%	78.0%	81.1%	81.0%	82.9%	78.5%			80.2%			

上記のほか、茅ヶ崎支援学校の在校生、ご本人からの問い合わせで11名が見学、4名（延べ日数19日）が実習をおこなった。介護サービスへの移行や生活介護、就労移行の事業所変更により退所者は3名であった。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	3	5	1	8	4	0	0	21
女	1	0	3	2	2	1	0	9
計	4	5	4	10	6	1	0	30

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
1	1	0	1	0	0	3	0	5	10	6	21

精神障害				重複					合計
1級	2級	3級	小計	身1級 B2	精2級 A2	精3級 B1	身3級 精2級	小計	
0	2	0	2	1	1	1	1	4	30

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
1	4	9	3	1	1	11	30

(5) 居住地域

市内	市外	計
29	1	30

(6) 居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
14	12	4	30

(7) 生活支援の概要

70代後半の利用者が、第2あかしあに通い続けたいというご本人の強い思いから、介護保険ではなく障害福祉サービスを利用しているが、高齢家族との同居に生活維持の課題が見込まれたためグループホーム探しの支援を行った。また、関係機関の支援が途切れていたご家族について、相談支援事業所の面談に同行し支援を繋いだ。

感染症に対する理解を促すため、毎月、お便りで市内の感染症情報を発信するとともに、利用者向けに年に3回の勉強会を実施した。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労

なし

イ 職場実習

なし

ウ 施設外就労

なし

エ 就労支援の概要

就労希望者に対し企業訪問などの支援を実施したが、体調不良により休止となっている。茅ヶ崎市役所の職場体験に1名申し込んだが、面接の結果、採用には至らなかった。

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	軽作業	清掃	計
令和2年度	3,075,483	235,331	3,310,814
令和3年度	3,308,299	241,822	3,550,121
令和4年度	3,331,953	257,085	3,589,038
令和5年度	3,453,199	262,538	3,715,737
令和6年度	4,625,969	272,589	4,898,558
令和6年度(目標)	4,630,000	280,000	4,910,000

イ 平均工賃

単位：円

年間配分金	月額平均
4,604,839	16,781

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	コンポー(株)、住友電工オブティフロンティア(株)、(株)ワンワールド、熊澤酒造(株)、高野商店、やまと紙器(株)、湘南きのこ、寒川紙業、モキチベーカ&スイーツ、リノアス、湘南日和など
清掃	施設内清掃

エ 作業支援と工賃の概要

利用者一人ひとりの状態に合わせパーテーションの設置、作業内容や席がわかりやすいよう視覚的な提示、高齢や杖歩行の利用者が移動しやすいよう動線を確保など個別に作業がしやすい支援をおこなった。また、床が滑りやすいため、床のこまめな掃き掃除や床の段差に目印をつけることでけがや転倒などの事故を防ぐことができた。

新たな作業種目の契約により、売り上げは前年度比131.8%の増となり、平均工賃額を4,000円以上増やすことができた。

5 研修・会議等

(1) 研修

内部研修	日数	延人数
虐待防止・身体拘束について	5	38
身体拘束について	2	15
感染症対策について	2	14
個人情報とプライバシー保護につい	1	7
災害について	2	14
新任研修	1	1
B C P（自然災害業務継続計画）について	1	8
ケース検討	1	8
計	15	105

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数
個人情報とプライバシー保護	かながわ福祉サービス振興会	1	1
福祉職場のメンタルヘルスケア	かながわ福祉サービス振興会	1	1
障害者の特性と理解	かながわ福祉サービス振興会	1	1
職場のハラスメント予防策	かながわ福祉サービス振興会	1	1
障害者虐待防止・身体拘束等の適正化	かながわ福祉サービス振興会	1	1
感染症・食中毒の予防及び拡大防止	かながわ福祉サービス振興会	1	1
工賃向上計画作成セミナー	神奈川セルフセンター	1	1
神奈川県サービス管理責任者更新研修	かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	2	2
接遇・マナー研修	神奈川県社会福祉協議会	1	1
神奈川県障害者虐待防止・権利擁護研修	かながわ福祉サービス振興会	1	1
意思決定支援とは	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	1	1
指導講習会	神奈川県	1	1
神奈川県サービス管理責任者補足研修	かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	1	1
神奈川県サービス管理責任者基礎研修	シーガル研修・研究機構	1	1
計		15	15

(2) 会議

内部会議	日数	延人数
職員会議	12	87
サービス担当者会議及び個別支援会議	10	57
計	22	144

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎市障害者保健福祉計画推進委員会	茅ヶ崎市	1	1
茅ヶ崎市障害者施設連絡会	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	5	5
光の風ネットワーク会議	光の風	4	4
ケア会議	相談支援事業所ほか	7	7
計		17	17

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
9月19日	24	17	0	41	給湯室	地震後火災発生 (通報・避難・消火訓練)
3月19日	18	6	0	24	給湯室	地震後火災発生 (通報・避難・消火訓練)

(2) 利用者アンケート

施設利用の満足度調査として、9月に利用者アンケートを実施した。(回収率 92.9%：配布 28/回収 26) 活動・作業については平均 80.8%、職員の対応については平均 75.6%となり、総合的には 80.8%の満足度を得られた。

(3) 保護者懇談会

実施日	参加人数			
	保護者	支援者	職員	計
5月29日	9	1	2	12

(4) 年間行事

実施日	行事内容
5月29日	保護者懇談会
7月~8月	保護者（支援者）面談
9月	利用者面談
9月21日	十間坂自主防災会防災訓練
9月19日	総合防災訓練
10月26日	茅ヶ崎地区防災訓練
12月 6日	日帰りレクリエーション（県立生命の星博物館）
1月 9日	お楽しみ新年会
2月~3月	保護者（支援者）面談
3月	利用者面談
3月19日	総合防災訓練

(5) 車両の運行状況

(ピクシス)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	153	124	42	138	83	109	182	251	119	148	145	250	1,744	145.3
運行日数 (日)	15	11	5	15	9	10	11	16	13	12	14	16	147	12.3
平均走行 距離(km/日)	10.2	11.3	8.4	9.2	9.2	10.9	16.5	15.7	9.2	12.3	10.4	15.6		11.9

あっとほーむ小和田事業報告（共同生活援助）

1 基本方針

利用者が地域において共同して、基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ及び食事等の介護並びに相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行う。一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供する。

2 令和6年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	世話人の確保	達成できた 職員の紹介等により、新規で4名の世話人を採用することができた。また、試行的にバックアップ施設の赤羽根で、福祉の仕事に関心がある学生アルバイト4名を雇用した。
(2)	サービスの質の向上	達成できた 利用者アンケートでは、自分のペースで生活できているという方が89%で、個々の生活リズムに合った支援を提供できている。 サービスの質の向上に向け、毎月各ホームで世話人会議を開催し、支援方法の共有や障害に関する知識を深めるため内部研修を実施した。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

			月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
あ っ と ほ ー む	G H	実在籍(契約)数	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18		
		開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	366	
		延在籍数	570	589	542	558	558	540	558	540	558	558	504	558	6,633	7043	
		延利用数	510	521	488	500	489	483	505	478	488	482	449	487	5,880	6,360	
	分析	一日平均	17.0	16.8	16.3	16.1	15.8	16.1	16.3	15.9	15.7	15.5	16.0	15.7	16.1	17.4	
		出席率	89.5%	88.5%	90.0%	89.6%	87.6%	89.4%	90.5%	88.5%	87.5%	86.4%	89.1%	87.3%	88.6%	90.3%	
	体験利用	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		延利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
															総計 =	5,880	6,387

精神・発達障害の利用者が、他者との接触を避けるため、自室で食事をとることができるように、その都度希望を聞き取り、個別の対応を取っている。

松が丘の利用者1名が6月に転居し、現在も空室1となっている。サテライト型グループホームの支給決定期間延長が認められないケースが増えている。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	2	0	2	2	1	0	0	7
女	7	2	1	1	1	0	0	12
計	9	2	3	3	2	0	0	19

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
1	0	0	0	0	0	1	1	1	7	5	14

精神障害				重複			合計
1級	2級	3級	小計	精2級 B2	身2級 A1	小計	
0	2	1	3	1	0	1	19

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
0	8	5	6	0	0	0	19

(5) 日中活動の場

就労	法人外 事業所	法人内 事業所	求職中	計
6	4	8	1	19

(6) 生活支援の概要

企業へ就労している利用者が、職場のストレスにより体調を崩した際、企業へ出向き、利用者の現在の状況を説明し、障害特性の理解を促すとともに、双方が安心して雇用が継続できるよう必要な支援を行った。

金銭管理や余暇活動で課題のある利用者が増えている。収入と支出、お金の使い方、消費トラブルについて、時間をかけ繰り返し確認を行っている。

4 研修・会議等

(1) 研修

内部研修	日数	延人数
虐待防止及び身体拘束について (虐待防止検討会議/身体拘束適正化検討委員会)	3	37
感染症・自然災害BCP	6	40
発達障害について	3	17
計	12	94

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修	かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	2	2
強度行動障害実践研修	(社福) 光友会	2	2
地域で暮らすための発達障害支援	神奈川県発達障害支援センターかながわA	1	1
発達障害研修	茅ヶ崎市障がい福祉課	1	1
福祉サービス第三者評価に関する事業者説明会	神奈川県社会福祉協議会	1	2
計		7	8

(2) 会議

内部会議	日数	延人数
個別支援計画作成会議	6	18
世話人会議 (小和田)	12	73
世話人会議 (松が丘)	12	88
世話人会議 (高田)	12	68
計	42	247

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎寒川ホーム連絡会	茅ヶ崎寒川ホーム連絡会	3	3
ケース会議	茅ヶ崎市社会福祉協議会	1	1
計		4	4

5 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
3月3日	6	1	0	7	あっとほーむ高田	地震避難誘導、非常食確認
3月10日	7	1	0	8	あっとほーむ小和田	地震避難誘導、非常食確認
3月6日	5	1	0	6	あっとほーむ松が丘	地震避難誘導、非常食確認

(2) 年間行事

実施日		行事内容
毎月1回	各ホーム	世話人会議
誕生月	各ホーム	誕生日会
8月下旬	各ホーム	個別面談
2月下旬	各ホーム	個別面談
3/3.6.10	各ホーム	避難訓練

誕生会では利用者に食べたいケーキを選んでもらい提供している。個人での余暇活動を楽しみたい利用者が多く、各ホーム単位での行事は実施していない。

相談支援センターつみき事業報告

(茅ヶ崎市相談支援、指定障害児相談支援、指定特定相談支援、障害支援区分認定調査)

1 基本方針

障害のある児・者及び保護者等の意思を尊重し、基本的人権を享有する個人として、その尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援する。また、障害のある児・者の意思及び人格を尊重し、抱えている課題の解決や適切なサービス利用に向け、関係各機関や福祉サービス提供事業所等と連携しながら支援を行っていく。

2 令和6年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	市や他委託相談事業所と現状を共有し、機能的な市の相談支援体制について協議していく。	達成できた 他委託相談事業所や指定相談事業所と情報交換会を行い、計画作成や相談の記録の仕方など、具体的な仕事の進め方を共有した。また、市に対し、各事業所の体制や、一般相談を受けながら計画作成を行う難しさを伝え、次年度も引き続き協議していくこととなった。
(2)	日頃から他機関との繋がる機会を作り、必要な時にスムーズな連携ができるよう関係を深めていく。	達成できた 自立支援協議会の「就学後の相談のしくみ部会」において、教育関係、学童、放デイの職員と顔見知りになり、また、地域包括支援センターとの合同研修で、顔の見える関係となったことで、以前よりケースについて関係機関との相談が円滑になった。各機関とチームで検討することで、違った視点からアプローチすることができた。また、こどもの支援はつみき、保護者の支援は別委託相談事業所と担当を振り分けることで、問題解決に向けて整理することができた。

3 事業内容

(1) 相談支援の実施状況内訳

ア 利用者の状況

相談形態	電話	来所	訪問	その他	延べ件数計
	4,270	102	72	33	4,477

相談者	本人	家族・親戚	その他機関等	延べ件数計
	167	1,034	3,276	4,477

地 域	茅ヶ崎	その他地域	実人数計
	204	12	216

障害種別	身体	知的	精神	発達	高次脳	その他	実人数計
	9	53	9	140	0	5	216

イ 利用実績

事業項目		年間相談計 (件)
(1) 市町村相談支援機能強化事業		3,169
(2) 障害者相談支援事業		1,356
(内 訳)	(ア) 福祉サービスの利用援助 (情報提供、相談等)	1,053
	(イ) 社会資源を活用するための支援	183
	(ウ) 社会生活力を高めるための支援	3
	(エ) ピアカウンセリング	0
	(オ) 権利の擁護のために必要な援助	2
	(カ) 専門機関の紹介	3
	(キ) 自立支援協議会の部会の運営	48
	(ク) 上記以外の相談	64

* (キ) の件数は、上表「利用者の状況」の件数に含まれていません。

(2) 主な相談内容と特徴

- ・相談件数は 4,477 件となり、前年度の 3,458 件から 1,019 件増加するとともに、過去最高件数となっている。
- ・新たな機関や支援者との繋がりが増えてきたことに比例して、その他機関等からの相談件数が前年度より 540 件増えている。
- ・児童発達支援、放課後等デイサービスなど、児童系のサービスの利用調整に関する相談が大半を占めている。
- ・障がい種別の発達障がいの中には、はっきりとした診断のない児も含まれている。
- ・様々な事情から家族による養育に難しさを抱えている障がい児について、児童相談所、こども家庭センター、市障がい福祉課より、福祉サービスの利用等について相談を受けることが複数あった。
- ・これまで療育に関わっていない通常級に通う児童の保護者から学校への行き渋りや不登校についての相談が多く、発達の特性がある児については、学校と連携を取り、放課後等デイサービスの利用に向けた見学同行など安心できる居場所の検討を行った。
- ・児童、成人共に保護者のレスパイト、将来の自立に向けた短期入所利用の相談が多かった。

(3) 障害児支援利用計画及びサービス等利用計画の作成件数

区分	障害児(18歳未満)		障害者(18歳以上)	
	利用計画	継続 利用計画	利用計画	継続 利用計画
6年度	26	36	9	7
5年度	23	27	4	8

(4) 認定調査の件数

6年度	32
5年度	26

4 研修・会議等

(1) 研修

内部研修	日数	延人数
虐待防止 & 身体拘束廃止の推進	2	6

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数
神奈川県相談支援従事者初任者研修	かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	7	7
発達障がい研修	茅ヶ崎市障がい福祉課	4	8
グループスーパービジョン	ちがさき基幹相談支援センターNalu	3	4
神奈川県サービス管理責任者更新研修	かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	2	2
意思決定支援研修	湘南東部圏域ナビゲーションセンター	1	1
意思決定支援研修	茅ヶ崎市	1	1
高次脳機能障害セミナー	神奈川リハビリテーション事業団	1	1
精神障害の特性と支援方法を学ぶ研修	かながわ福祉サービス振興会	5	5
制度はどう動く？強度行動障害の人への支援	ちがさき基幹相談支援センターNalu 茅ヶ崎寒川地区自閉症児・者親の会	1	1
認定調査員フォローアップ研修	厚生労働省	1	1
メンタルヘルスケア	かながわ福祉サービス振興会	1	1
障害者虐待防止・身体拘束等の適正化	かながわ福祉サービス振興会	1	1
自閉症の基礎	かながわ福祉サービス振興会	1	1
感染症・食中毒の予防及び拡大防止	かながわ福祉サービス振興会	1	1
ワールドカフェinちがさき	ちがさき基幹相談支援センターNalu	1	2
翔の会 実践発表会	社会福祉法人 翔の会	1	1
茅ヶ崎市障がい福祉事業所大交流会	茅ヶ崎市自立支援協議会 事業所間交流・情報発信部会	1	1
計		33	39

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎市自立支援協議会 全体会議	茅ヶ崎市	1	2
茅ヶ崎市自立支援協議会 代表者会議	茅ヶ崎市	3	3
茅ヶ崎市自立支援協議会 運営会議	茅ヶ崎市	4	4
茅ヶ崎市自立支援協議会 就学後の相談のしくみ部会	相談支援センターつみき	3	6
茅ヶ崎市自立支援協議会 相談支援部会	基幹相談支援センターNalu	3	3
茅ヶ崎市自立支援協議会 事業所間交流・情報発信部会	翔の会とれいん	4	4
茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	4	8
湘南東部障害保健福祉圏域 自立支援協議会	湘南東部圏域地域生活 ナビゲーションセンター	2	2
湘南東部圏域意思決定支援ネットワーク会議	湘南東部圏域地域生活 ナビゲーションセンター	4	4
地域拠点整備プロジェクト会議	茅ヶ崎市	2	2
相談支援事業実績報告会議	茅ヶ崎市	3	6
相談支援事業所情報交換会	基幹相談支援センターNalu	4	10
計		37	54

5 その他

(1) 車両の運行状況

(エブリイ) 車両入替え予定のため車検前に売却 (R7.2.14)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	138	157	159	226	184	257	187	175	229	173	58		1,943	176.6
運行日数 (日)	12	13	13	13	15	16	10	12	17	12	4		137	12.5
平均走行 距離(km/日)	11.5	12.1	12.2	17.4	12.3	16.1	18.7	14.6	13.5	14.4	14.5			14.2

ぐっじょぶ矢畑事業報告（就労継続 B 型）

1 基本方針

障害のある方が、働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

生産活動を通して、働くことの楽しさや大切さ、それぞれが協力して製品を完成させる達成感を感じていただき、生活意欲の向上へ繋がるような支援を行います。

2 令和 6 年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	利用者の満足度向上	達成できた 利用者や保護者の声を聞き、継続的にサービスの質と満足度の向上に取り組んだ。利用者の興味関心度が高い「食」に関するイベントの実施や、法人内のゴミ回収・セルフ共同受注・自主制作品などによる多様な作業の提供により、利用者アンケートでは86.7%と高い満足度を得られた。
(2)	利用者の自己決定と選択の尊重	達成できた 日々の活動や個別面談など、様々な場面において、個々の特性に配慮した視覚支援ツールを用いて支援を行った。なかなか気持ちを表出できない利用者にとって、いくつかの選択肢を提示することにより、自らの意思を伝達できるようになってきており、自己決定と選択を尊重した支援を行うことができた。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

																		前年度					
月																		計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数
ぐ っ じ ょ ぶ 矢 畑	維 統 8 型	実在籍(契約)数	19	19	19	19	17	17	16	16	16	14	14	14									
		開所日数	21	21	20	22	17	19	22	20	19	19	18	20	238	9	247	236	9	245			
		延在籍数	399	399	380	384	289	323	352	320	304	266	252	280	3,948			4,570					
		延利用数	303	304	279	290	212	227	252	235	215	214	207	224	2,962	65	3,027	3,307	66	3,373			
	分 析	一日平均	14.4	14.5	14.0	13.2	12.5	11.9	11.5	11.8	11.3	11.3	11.5	11.2	12.4			14.0					
出席率		75.9%	76.2%	73.4%	75.5%	73.4%	70.3%	71.6%	73.4%	70.7%	80.5%	82.1%	80.0%	75.0%			72.4%						

上記のほか、茅ヶ崎支援学校の在校生など 7 名が見学をした。6 月・9 月・10 月に茅ヶ崎支援学校から 3 名ずつ、実習生を受け入れ（延べ 19 日）、その内 1 名が R7 年度からの利用につながった。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	9	4	1	2	0	0	0	16
女	1		1	1	0	0	0	3
計	10	4	2	3	0	0	0	19

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	0	1	0	1	0	2	0	10	3	3	16

精神障害				重複			合計
1級	2級	3級	小計	身1級 A1	精2級 B2	小計	
0	1	0	1	0	0	0	19

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
0	0	6	5	2	0	6	19

(5) 居住地域

市内	市外	計
18	1	19

(6) 居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
16	3	0	19

(7) 生活支援の概要

生活面の課題解決に向け、日々の連絡帳を活用するほか、面談を希望されない保護者については、電話にてご本人の様子を共有するとともに、ご家庭の状況や保護者ニーズの把握に努めた。特に、家庭支援が必要なケースには、相談支援事業所と協働し、新たな福祉サービスを取り入れることができた。

その他にも、気温に応じた服装や髭剃りの仕方など写真カードなど視覚ツールも活用しながら日常的に利用者との意思疎通を図った。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労
なし

- イ 職場実習
なし
- ウ 施設外就労

主な企業名	業務内容	回数	延べ人数
神奈川セルプセンター、パトリア、 はまゆう不動産、スリーウッド	ポスティング、除草	75	64

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	軽作業
令和2年度	768,103
令和3年度	681,523
令和4年度	612,185
令和5年度	593,426
令和6年度	895,849
令和6年度(目標)	1,195,000

イ 平均工賃

単位：円

年間配分金	月額平均
854,239	5,788

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	高野商店、寒川紙業、アンナ、友達など

エ 作業支援と工賃の概要

売り上げ増加を図るため、新たに成人事業所のゴミ回収事業を開始した。その他にも近隣の除草作業や箱折り作業など新たな品目の作業を受注することで売り上げを伸ばすことができた。また、利用者が多くの作業に関われるよう作業を細分化したり、治具をつくるなど工夫して取り組んだ。

昨年度から取り組んでいる自主製品では、毛糸で作ったボンボンをキーホルダーやクリスマスリースなどの季節商品へ加工し、新たな製品として売り出すことができた。なお、販売方法として、職員の提案にて施設入口のガラス面に掲示してみたところ、地域の方々の目に留まり、販売に繋がるとともに、福祉サービス事業所として近隣の方に認知していただくきっかけにもなっている。

5 研修・会議等

(1) 研修

内部研修	日数	延人数
虐待防止と身体拘束廃止の推進GW	2	12
危機管理（感染症と食中毒・自然災害）	1	4
障害者の特性と理解、視覚支援GW	1	6
社会福祉基礎研修FB、作業の切り分けGW	1	6
救命救急	1	5
意思決定支援	1	5
計	7	38

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数
意思決定支援ガイドライン	神奈川県	1	1
指定障害福祉サービス事業所指導講習会	神奈川県	1	1
チームリーダーキャリアパス対応生涯研修	神奈川県社会福祉協議会	2	2
社会福祉基礎研修（学びなおし編）	神奈川県社会福祉協議会	1	1
障害者総合支援法の基礎	かながわ福祉サービス振興会	1	2
感染症・食中毒の予防及び拡大防止	かながわ福祉サービス振興会	1	3
利用者の尊厳保持とプライバシー保護の取り組み	かながわ福祉サービス振興会	1	3
自閉症の基礎	かながわ福祉サービス振興会	1	6
障害者虐待防止・身体拘束等の適正化	かながわ福祉サービス振興会	1	6
福祉現場のメンタルヘルス	かながわ福祉サービス振興会	1	1
職場のハラスメント予防対策	かながわ福祉サービス振興会	1	1
意思決定支援	茅ヶ崎市自立支援協議会	1	3
意思決定支援	湘南東部障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター	1	1
意思決定支援とは	茅ヶ崎市施設連絡会	1	5
発達障害専門相談員研修	茅ヶ崎市	1	3
権利をまもる研修会	S-net	1	1
計		17	40

(2) 会議

内部会議	日数	延人数
サービス担当者会議及び個別支援会議	12	36
虐待防止検討会議	1	3
身体拘束廃止会議	1	6
計	14	45

外部会議	主催	日数	延人数
ケア会議	とれいん	7	7
茅ヶ崎市障害者施設連絡会	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	3	3
茅ヶ崎市自立支援協議会交流・情報発信部会	茅ヶ崎市	4	4
計		14	14

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	出火想定場所	想定
8月8日	12	5	0	17	-	水害避難訓練
10月4日	12	6	0	18	隣家	地震・火災（避難訓練）
3月21日	9	6	0	15	隣家	地震・火災（消火・避難訓練）

(2) 利用者アンケート

施設利用の満足度調査として、9月に利用者アンケートを実施した。（回収率 93.8%：配布 16 件/回収 15 件）支援計画の内容について 90.0%、職員の対応について 91.1%、総合的な満足度について 86.7%の満足度を得られた。

(3) 年間行事

実施日	行事内容
6/19.20	お楽しみランチ（鈴カステラ作り）
8/28.29	マクドナルドランチ
11/22.26	日帰りレクリエーション（ミカン狩り）
12/25	年末レクリエーション（ケーキ作り）
3/26	クッキング（カップケーキ作り）

利用者の要望を取り入れながら、定期的に「食」に関するイベントを行い、楽しい雰囲気の中で普段は交流の少ない利用者同士が協力してクッキングに取り組む姿などが見られた。

祝日の臨時開所日には、昼食の買い物時にスーパーマーケットのセルフレジ体験を行うなど、様々な体験を通して社会性を養う支援を行った。

(4) 車両の運行状況

（キャリア）次年度から成人事業全体として継続活用

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	244	170	210	255	148	183	260	267	269	197	161	120	2,484	207.0
運行日数 (日)	14	10	13	15	9	10	14	12	15	11	10	12	145	12.1
平均走行 距離(km/日)	17.4	17.0	16.2	17.0	16.4	18.3	18.6	22.3	17.9	17.9	16.1	10.0		17.1

（キャリア）*車両入替えR7.3.21納車

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)												73	73	73.0
運行日数 (日)												4	4	4.0
平均走行 距離(km/日)												18.3		18.3